

⚠ 注意

電池は正しく使う

破裂や液もれにより、火災やけが、周囲を汚染する原因になることがあります。



禁止

指定の電池以外は使用しない。
新・旧電池や違う種類の電池を一緒に使用しない。
充電・分解・変形・加熱、火や水の中に入れる、金属物と接触させるなどしない。
著しく温度が高くなるところに電池や電池の入ったリモコンを放置しない。
(窓を閉めきった車や車のトランクの中、直射日光の当たるところ、ヒーターの近くなど)



⊕⊖を電池ケースの表示に合わせて入れる。
使いきった電池は、すぐに交換する。
リモコンを長時間使用しないときは、電池を取り出しておく。
電池を廃棄、または保管するときは絶縁する。(ポリ袋に入れる、テープなどを巻く)

電池を廃棄する場合は

地方自治体の条例などに従って処理してください。

電池の液もれが発生した場合の処置について

電池ケースに付いた液をよく拭き取ってから、新しい電池を入れてください。
もれた液が身体や衣服に付着したときは、水でよく洗い流してください。
万一、目に入ったときは、こすらずにすぐに水で洗い流し、医師にご相談ください。

免責事項について

火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害(事業利益の損失、記憶内容の変化・消失など)に関して、当社は一切の責任を負いません。

商品に添付の保証書は、当該製品を業務用の車両(バス・タクシー・商用車など)に使用した場合、適用対象にはなりません。

他人に譲渡または処分などされる際は、プライバシー保護のため本機に入力した個人情報(登録ポイントの住所や電話番号など)の取り扱い、管理(消去等)は、必ずお客様の責任において行ってください。
当社は一切の責任を負いません。

お客様または第三者が本機の使用を誤ったとき、静電気・電氣的なノイズの影響を受けたときなどに、ハードディスク内の地図データや基本プログラム等が変化・消失した場合の補償はできません。

お客様または第三者が本機の使用を誤ったとき、静電気・電氣的なノイズの影響を受けたとき、または故障・修理のときなどに、本機に登録されていた情報(登録ポイントなど)が変化・消失した場合、その内容の補償はできません。

大切な情報(登録ポイント、ルート設定メモリー、軌跡メモリー、ドライブルート)は、万一に備えてバックアップ(控え)をとっておくことをお奨めします。なお、モードセレクトの内容やランドマークカスタマイズのデータは、SDメモリーカードに保存することはできませんので、万一に備え、メモなどをとっておくことをお奨めします。(☞118ページ:SDメモリーカードを使う)

必ず、サイドブレーキコードを接続してご使用ください。

走行中はテレビ(ビデオ)の映像が表示されず、音声のみとなります。また、停車状態でもサイドブレーキを引かないと映像は表示されません。(安全機能)(2台目のモニターには、映像が表示されます。)

他の機器と接続する場合は...接続する機器の取扱説明書もよくお読みになり、正しく配線してください。

携帯電話を使用する場合は...携帯電話を置く位置や向きによっては、雑音が生じることがあります。できるだけ本機から離してお使いください。

本機の取り扱いについて

車載用以外には使用しないでください。

車載用以外(例えばレジャーボートやアウトドアなど)に使用すると、発煙・発火、感電やけが・故障の原因になる場合があります。

液晶ディスプレイについて

液晶ディスプレイに衝撃を与えたり、押しついたりしないでください。
液晶ディスプレイにはなるべく触れないでください。
特殊加工されているので、触れると指紋が目立ちます。
低温になると、映像が出なくなったり・出るのが遅くなったりすることがあります。
また、映像の動きに違和感が出たり・画質が劣化したりすることがあります。
(使用可能温度: 0 ~ 40)

ハードディスクの取り扱い/データバックアップについて

ハードディスクカバーを開かないでください。故障の原因になります。
ハードディスクカバーを開けたことによるトラブルは、保証できません。
衝撃を与えないでください。
書き込み/読み出し中には、電源を切らないでください。
振動の激しい場所や不安定な場所には、取り付けないでください。
急な温度変化のある場所(エアコンの吹き出し口付近など)には、取り付けないでください。
ハードディスクは、非常に多くのデータを保存することができますが、故障・修理のときなどに登録されていた情報(登録ポイントなど)が変化・消失した場合、その内容の補償はできません。
大切な情報(登録ポイント、ルート設定メモリー、軌跡メモリー、ドライブルート)は、万一に備え定期的にSDメモリーカードにバックアップ(控え)をとっておくことをお奨めします。

お願い

取付時など、本機を落下させる、たたくなどして衝撃を与えないでください。
故障の原因になります。